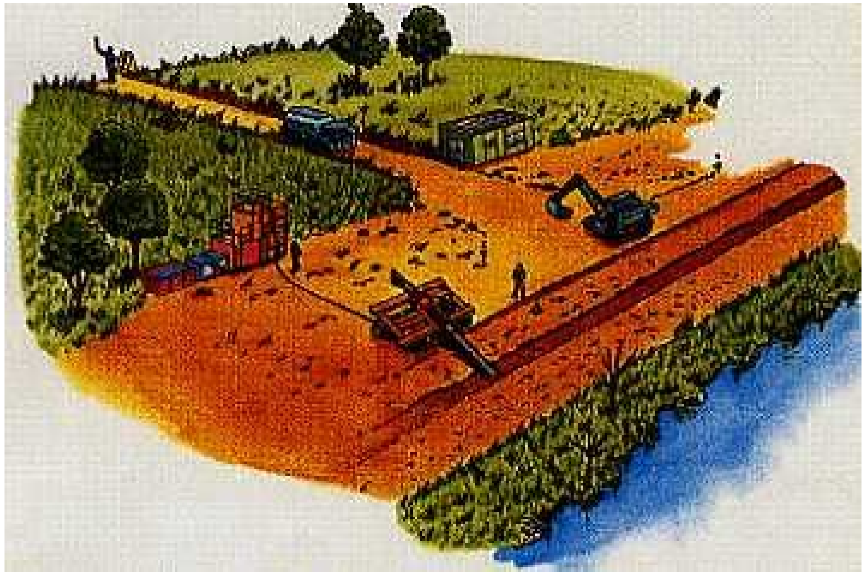
第5節　紀の川環境保全対策

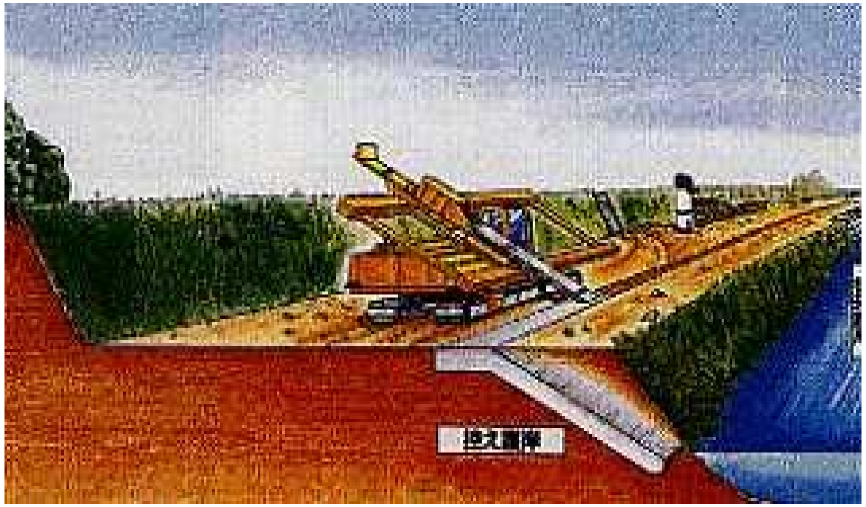
多自然型護岸工法（１）

　ＴＲＤ工法などの新技術を活用しながら、自然環境に配慮した控え護岸工事を行っています。

施工中の状況

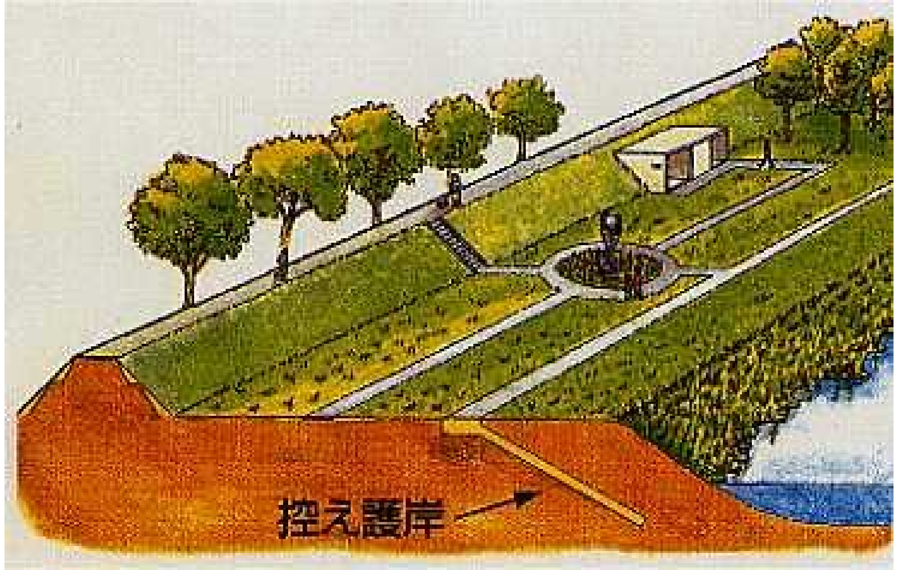
多自然型護岸工法（２）





ＴＲＤ工法(Trench cutting Re-mixing Deep wall method)

　河岸に沿って地中に連続した壁を造成するものである。これにより、河岸に手を加えることなく、河岸洗掘くい止める控え護岸が構築できる。



魚ののぼりやすい川づくり（１）

　紀の川では魚ののぼりやすい川づくりとして、魚道の設置や改築を行っています。

岩出橋）設置後

岩出橋）設置前

魚ののぼりやすい川づくり（２）

大川橋》 改築前

大川橋》 改築後

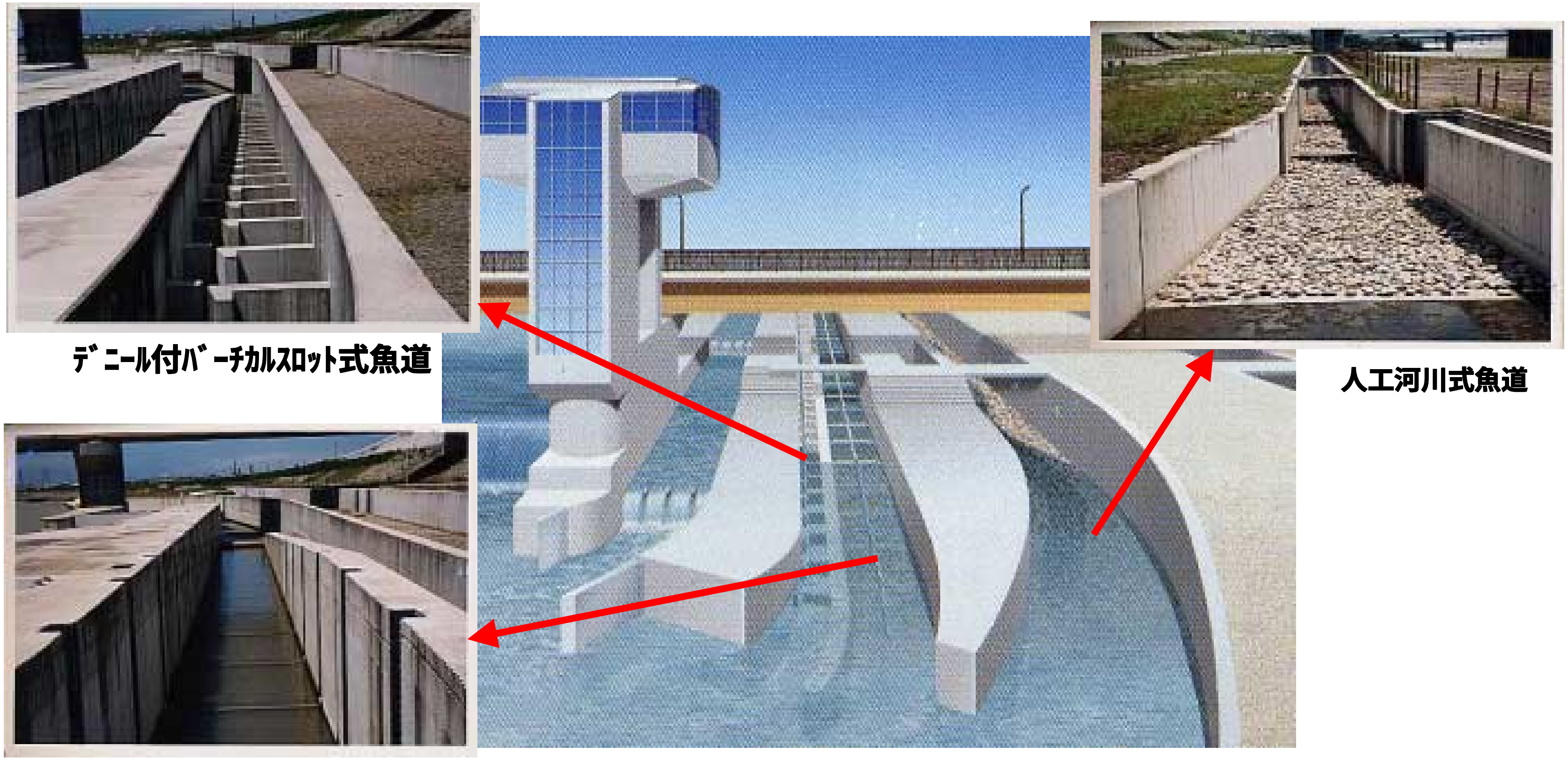
魚ののぼりやすい川づくり（３）

アユの遡上時期に水量が少ない場合、すくいごしなどにより遡上の手助けが行われています。

「アユのすくいごし」の様子

紀の川大堰による魚道改築

紀の川大堰の魚道の概要



デニール付バーチカルスロット式魚道

人工河川式魚道

階段式魚道